

教科(科目)	現代の国語	単位数	2	学年(コース)	1 学年
使用教科書	「高等学校 精選現代の国語」(第一学習社)				
副教材等	「核心漢字2500+語彙1000」(尚文出版)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育成します～ ①確かな学力と豊かな人間性を身に付け、様々な場面に対応できる知識・技能を有し、何事にも主体的・創造的に取り組む力を育てます。 ②国際感覚や多様性を理解する姿勢を身に付け、広い視野を持ち、他者と協働し社会に貢献する態度を育てます。 ③よりよい社会を創造するリーダーとなるにふさわしい精神と、高い目標の実現のために粘り強く努力し続ける姿勢を育てます。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～ ①生徒の資質能力の最大限の伸長のために、適切な科目の配置やICTの活用などに取り組み、確かな学力に基づいた思考・判断・表現する力を育成します。 ②生徒の個性を尊重した進路実現のために、地域の人的資源を活用して様々な体験をする機会を設け、キャリア教育の充実を図ります。 ③生徒の視野を広げ、多様な価値観を身に付けさせるために、様々な探究活動や体験活動を通して、教科横断的な思考と協働活動の中で合意形成する力を育てます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
--

3 指導の重点

大半の生徒が進学を希望していることから、 ① 基本的な言語事項の習得を重視し、文章に用いられる語句の意味・用法の理解を目指します。 ② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。 ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う意欲を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	・言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	・課題考査や定期考査 ・小テスト ・提出物 ・ワークシート などから評価します。	・課題考査や定期考査 ・授業中の発言、発表や討論への取り組み ・提出物 ・ワークシート などから評価します。	・授業中の発言、発表や討論への取り組み ・ワークシート ・提出物 などから評価します。

6 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の 観点	評価方法
---	-----	-------------	-----	------------	-----------	------

4	物 事 の 捉 え 方	3 「C 読 む こ と」	中村桂子 『『生きもの』と して生きる』	・筆者の提案する人間の生き方について、文章構成をもとに把握する。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 課題考査 定期テスト
5	人 間 と 文化	5 「B 書 く こ と」	山崎正和 「水の東西」	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 定期テスト
	定期 考査				a、b	
	人 間 と 文化 論 理 分 析 【 対 比 】	5 「B 書 く こ と」	港千尋 「無彩の色」 高階秀爾 『『間』の感覚』	・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 ・対比構造を用いた論理の展開について理解する。	a a b	授業態度 ワークシート 定期テスト
6 7	話 し て 伝 え る	4 「A 話 す こ と・聞 く こ と」	「論 理 的 な 表 現」	・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・課題をもとに、主張と理由の関係性や妥当性について話し合う。	a c	授業態度 発問評価 発表・報告
	言 語 と 情 報	4 「B 書 く こ と」	鈴木孝夫 「もの と こ と ば」	・具体と抽象の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 定期テスト
	定期 考査				a、b	
	話 し て 伝 え る	4 「A 話 す こ と・聞 く こ と」	「話 し 方 の 工 夫」 「待遇表現」 「スピーチで自 分を伝える」	・自分の意見をわかりやすく伝える方法を理解する。 ・材料を集め、表現を吟味してスピーチを実践する。 ・互いのスピーチについて批評し合う。	a b c	授業態度 発問評価 発表・報告

<u>8</u> <u>9</u>	書いて伝える	5 「B書くこと」	「書き方の基礎 レッスン」 「社会に対する 意見文を書く」	・表記・表現の基本ルールを理解する。 ・効果的に書くための方法を理解する。 ・意見文の書き方を理解し、実践する。 ・書いた意見文を批評し合う。	a a b c	授業態度 発問評価 ワークシート 課題考査
	科学と人間	4 「C読むこと」	池内了 『文化』としての科学」	・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、科学と技術の関係を理解する。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 定期テスト
<u>9</u> <u>10</u>	論理分析 【事実と意見】 【推論】	5 「B書くこと」	阪本俊生 『私作り』とプライバシー」 森岡正博 「AIは哲学で できるか」	・事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。 ・仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	a a b	授業態度 ワークシート 定期テスト
	定期考査				a、b	
	社会と人間	3 C「読むこと」	内山節 「不均等な時間」	・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 定期テスト
<u>11</u> <u>12</u>	社会と人間	6 「A話すこと・聞くこと」	内田樹 「フェアな競争」	・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「社会的共通資本」と「フェアな競争」との関係を押さえる。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・リバタリアンと筆者の主張の妥当性について検証し、意見を発表し合う。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 発表・報告 定期テスト
	定期考査				a、b	

	話して伝える	6 「A話すこと・聞くこと」	「理想の修学旅行をプレゼンする」	・情報を大勢の聞き手にわかりやすく説明するプレゼンテーションの方法を理解する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・材料を集め、表現を吟味してプレゼンテーションを実践する。 ・互いのプレゼンテーションを批評し合う。	a a b c	授業態度 発問評価 ワークシート 発表・報告
<u>1</u> <u>2</u>	現代と社会	4 「C読むこと」	上田紀行 「グローバルズムの遠近感」	「遠近感」の二重の意味を文脈から把握し、グローバル社会における問題を多様な視点から考える。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 課題考査 定期考査
	現代と社会	6 「B書くこと」	村岡晋一 「ロビンソンの人間と自然」	「ロビンソン・クルーソー」を例として取り上げた筆者の意図を理解した上で、主張を把握する。 ・文章を読むことを通して語彙を豊かにする。 ・内容や構成を捉え、要旨をまとめる。	b a b	授業態度 発問評価 指名音読 ワークシート 定期考査
	定期考査				a、b	

計 64 時間 (55 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 20 時間	B「書くこと」 30 時間	C「読むこと」 14 時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

7 課題・提出物等

- ・ワークシート、課題等の提出物の点検は、随時行います。
- ・小テストは、随時行います。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、論理的に考える力や豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。「現代の国語」及び「言語文化」で学ぶことは、高校3年間だけでなく、皆さんの生涯にわたる基礎となります。授業では、基礎・基本を大切にするとともに、実際に話したり書いたりする学習活動を通して、応用力を高めていきます。楽しみながら、力を伸ばしていきましょう。